

WB251910・WB251920について

土木工事標準積算基準書（令和3年7月）のWB251910及びWB251920は、積算システムでは以下の方法で積算しています

(1) WB251910（山留材質料）

《例》	J1	火打ブロックの有無	: 有
	J2	鋼製山留主部材の供用日数	: 333日
	J3	鋼製山留主部材の修理費及び損耗費の計上	: 有
	J4	鋼製山留主部材の整備費	: 4,500円
	J5	副部材(A)の供用日数	: 361日
	J6	副部材(A)の修理費及び損耗費の計上	: 有
	J7	鋼製山留材部品の整備費(副部材(A))	: 9,000円
	J8	副部材(B)の修理費及び損耗費の計上	: 有
	J9	鋼製山留材部品の不足分弁償金(新品)(副部材(B))	: 250,000円
	J10	山留材の1現場での使用回数	: 2回/現場
	Y007100000(鋼製山留材 賃料) ※ ※ 鋼製山留主部材の賃料		: 100円/t・日(1日当りの賃料)
	Y000028001(副部材(A) 賃料) ※ ※ 鋼製山留材部品の賃料		: 185円/t・日(1日当りの賃料)

基 WB251910 号 山留材質料

単価表

1 t 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼製山留材 賃料	t	1	33,300	33,300	(Y007100000) [1] ①
H形鋼(山留主部材)修理費及び損耗費	t	1	7,357	7,357	(Y000450005) [1] ②
副部材(A)賃料	t	0.67	98,173	65,775	(Y000028001) [1] ③
副部材A 修理費及び損耗費	t	0.67	15,255	10,220	(Y000450006) [1] ④
副部材B 修理費及び損耗費	t	0.06	505,000	30,300	(Y000450007) [1] ⑤
諸雑費(まるめ) Σ[1]	式	1	48	48	(ZS8000004)
合計				147,000	
		1	当り	147,000	円/t

条 件 名 称	入 力 値	条 件 値
J01 火打ブロックの有無	1	有
J02 主部材供用日数(実数入力)	333	【333 日】
J03 主部材修理費及び損耗費の計上	1	有
J04 鋼製山留材整備費(主部材)(実数)	4500	【4500 円】
J05 副部材A供用日数(実数入力)	361	【361 日】
J06 副部材A修理費及び損耗費の計上	1	有
J07 鋼製山留材部品整備費(副A)(実)	9000	【9000 円】
J08 副部材B修理費及び損耗費の計上	1	有
J09 不足分弁償金(新品)(副B)(実)	250000	【250000 円】
J10 山留材1現場での使用回数(実数)	2	【2 回/現場】

$$\begin{aligned}
 \text{① 鋼製山留主部材の賃料の単価} &= 1 \text{ 日当りの鋼製山留主部材の賃料} \times \text{供用日数} \\
 &= 100 \text{ 円/t} \cdot \text{日} \times 333 \text{ 日} \\
 &= 33,300 \text{ 円/t} \quad \text{小数点以下切り捨て}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{② H形鋼等の1現場あたり修理費及び損耗費の単価} \\
 &= \text{鋼製山留主部材の整備費} \times \text{係数} \times \frac{\text{使用回数} + 1}{2} \\
 &= 4,500 \text{ 円/t} \times 1.09 \times \frac{2 + 1}{2} \\
 &= 7,357.5 \text{ 円/t} \quad \text{小数点第4位四捨五入3位止め} \\
 &= 7,357 \text{ 円/t} \quad \text{小数点以下切り捨て}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{③ 副部材(A)の賃料の単価} &= 1 \text{ 日当りの鋼製山留材部品の賃料} \times \text{供用日数}^* \\
 &= 185 \text{ 円/t} \cdot \text{日} \times 530.67 \text{ 日} \\
 &= 98,173 \text{ 円/t} \quad \text{小数点以下切り捨て}
 \end{aligned}$$

$$\text{※ 供用日数} = \text{副部材(A)の供用日数} \times \text{係数} = 361 \text{ 日} \times 1.47 = 530.67 \text{ 日}$$

$$\begin{aligned}
 \text{④ 副部材(A)の1現場あたり修理費及び損耗費の単価} \\
 &= \text{鋼製山留材部品の整備費(副部材(A))} \times \text{係数} \times \frac{\text{使用回数} + 1}{2} \\
 &= 9,000 \text{ 円/t} \times 1.13 \times \frac{2 + 1}{2} \\
 &= 15,255 \text{ 円/t} \quad \text{小数点第4位四捨五入3位止め} \\
 &= 15,255 \text{ 円/t} \quad \text{小数点以下切り捨て}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{⑤ 副部材(B)の1現場あたり修理費及び損耗費の単価} \\
 &= \text{鋼製山留材部品の不足分弁償金(新品)(副部材(B))} \times \text{係数} \times \text{使用回数} \\
 &= 250,000 \text{ 円/t} \times 1.01 \times 2 \\
 &= 505,000 \text{ 円/t} \quad \text{小数点第4位四捨五入3位止め} \\
 &= 505,000 \text{ 円/t} \quad \text{小数点以下切り捨て}
 \end{aligned}$$

(2) WB251920 (覆工板賃料) : 覆工板

《例》 J1 仮設材区分 : 覆工板(鋼製従来型)
 J2 供用月数 : 3.3月
 J4 修理費及び損耗費の計上 : 有
 J5 仮設材(覆工板、鋼製山留材)の整備費 : 975円
 J6 1現場での使用回数 : 2回/現場
 Y007150000(覆工板賃料) : 765円/m2・月(1月当りの賃料)

基 WB251920 号 覆工板賃料

単価表

1 m2 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																		
覆工板 賃料	m2	1	2,524	2,524	(Y007150000) [1] ①																		
覆工板 修理費及び損耗費	m2	1	1,784	1,784	(Y000450008) [1] ②																		
諸雑費(まるめ) Σ [1]	式	1	0	0	(ZS8000004)																		
合計				4,308																			
		1	当り	4,308	円/t																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>条 件 名 称</th> <th>入 力 値</th> <th>条 件 値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J01 仮設材区分</td> <td>1</td> <td>覆工板(鋼製 従来型)</td> </tr> <tr> <td>J02 供用月数(実数入力)</td> <td>3.3</td> <td>【3.3月】</td> </tr> <tr> <td>J04 修理費及び損耗費の計上</td> <td>1</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>J05 仮設材(覆工板、山留材)整備費(実)</td> <td>975</td> <td>【975円】</td> </tr> <tr> <td>J06 一現場での使用回数(実数入力)</td> <td>2</td> <td>【2回】</td> </tr> </tbody> </table>						条 件 名 称	入 力 値	条 件 値	J01 仮設材区分	1	覆工板(鋼製 従来型)	J02 供用月数(実数入力)	3.3	【3.3月】	J04 修理費及び損耗費の計上	1	有	J05 仮設材(覆工板、山留材)整備費(実)	975	【975円】	J06 一現場での使用回数(実数入力)	2	【2回】
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値																					
J01 仮設材区分	1	覆工板(鋼製 従来型)																					
J02 供用月数(実数入力)	3.3	【3.3月】																					
J04 修理費及び損耗費の計上	1	有																					
J05 仮設材(覆工板、山留材)整備費(実)	975	【975円】																					
J06 一現場での使用回数(実数入力)	2	【2回】																					

① 覆工板の賃料の単価 = 1月当りの覆工板の賃料 × 供用月数
 = 765円/m2・月 × 3.3月
 = 2,524円/m2 小数点以下切り捨て

② 覆工板の1現場あたり修理費及び損耗費の単価
 = 覆工板の整備費 × 係数 × $\frac{\text{使用回数} + 1}{2}$
 = 975円/m2 × 1.22 × $\frac{2 + 1}{2}$
 = 1,784.25円/m2 小数点第4位四捨五入3位止め
 = 1,784円/m2 小数点以下切り捨て

(3) WB251920 (覆工板賃料) : 覆工板受桁及び覆工板受桁桁受(設置面積 700m2 以下)

- 《例》 J1 仮設材区分 : 覆工板受桁及び覆工板受桁桁受(設置面積 700m2 以下)
 J3 供用日数 : 181 日
 J4 修理費及び損耗費の計上 : 有
 J5 仮設材(覆工板、鋼製山留材)の整備費 : 4500 円
 J6 1 現場での使用回数 : 2 回/現場
 Y017310002(受桁・桁受賃料) : 100 円/t・日(1 日当りの賃料)

基 WB251920 号 覆工板賃料

単価表

1 m2 当り

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																		
受桁・桁受賃料	t	0.134	18,100	2,425	(Y017310002) [1] ①																		
H形鋼(山留主部材)修理費及び損耗費	t	0.134	7,357	985	(Y000450005) [1] ②																		
諸雑費(まるめ) Σ [1]	式	1	0	0	(ZS8000004)																		
合計				3,410																			
		1	当り	3,410	円/t																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>条 件 名 称</th> <th>入 力 値</th> <th>条 件 値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J01 仮設材区分</td> <td>8</td> <td>覆工板受桁及受桁桁受(面700m2以</td> </tr> <tr> <td>J03 供用日数(実数入力)</td> <td>181</td> <td>【181 日】</td> </tr> <tr> <td>J04 修理費及び損耗費の計上</td> <td>1</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>J05 仮設材(覆工板、山留材)整備費(実)</td> <td>4500</td> <td>【4500 円】</td> </tr> <tr> <td>J06 一現場での使用回数(実数入力)</td> <td>2</td> <td>【2 回】</td> </tr> </tbody> </table>						条 件 名 称	入 力 値	条 件 値	J01 仮設材区分	8	覆工板受桁及受桁桁受(面700m2以	J03 供用日数(実数入力)	181	【181 日】	J04 修理費及び損耗費の計上	1	有	J05 仮設材(覆工板、山留材)整備費(実)	4500	【4500 円】	J06 一現場での使用回数(実数入力)	2	【2 回】
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値																					
J01 仮設材区分	8	覆工板受桁及受桁桁受(面700m2以																					
J03 供用日数(実数入力)	181	【181 日】																					
J04 修理費及び損耗費の計上	1	有																					
J05 仮設材(覆工板、山留材)整備費(実)	4500	【4500 円】																					
J06 一現場での使用回数(実数入力)	2	【2 回】																					

① 受桁・桁受の賃料の単価 = 1 日当りのH形鋼(山留主部材)の賃料 × 供用日数
 = 100 円/t・日 × 181 日
 = 18,100 円/t 小数点以下切り捨て

② H形鋼(山留主部材)の1 現場あたり修理費及び損耗費の単価
 = H形鋼(山留主部材)の整備費 × 係数 × $\frac{\text{使用回数} + 1}{2}$
 = 4,500 円/t × 1.09 × $\frac{2 + 1}{2}$
 = 7,357.5 円/t 小数点第4位四捨五入3位止め
 = 7,357 円/t 小数点以下切り捨て